




第5回 大津地区地域座談会報告




日時	平成29年11月7日(火) 19:00～20:40		
テーマ	移動手段 ～移動手段確保(買い物・通院等)のしくみづくり～ 防災・防犯 ～平常時からの「互近助(ごきんじょ)」づくり～		
会場	JA大津松茂	参加者数	33名
<p>第5回の座談会は、移動手段の分野から「移動手段確保(買い物・通院等)のしくみづくり」と、防災・防犯の分野から「平常時からの「互近助(ごきんじょ)」づくり」について、全体を2つに分け意見交換を行っていただきました。</p> <p>今後運転免許証の返納などで自動車の運転ができなくなった時に必要になると思われる「移動手段確保(買い物・通院等)のしくみづくり」については、「運転免許証を返納しなくても良いように健康維持に努める」、「送迎ボランティアを組織する」、「出掛けるのではなく往診や移動スーパーに来てもらう」、「近所で助け合いマップをつくり、乗り合わせや御用聞きをする」、「車の運転や料理など得意分野を活かし分担して生活できるシェアハウス(互助ハウス)をつくる」などのアイデアが出されました。</p> <p>また、「平常時からの「互近助」づくり」については、「まずは個人の意識を高めることから」、「ご近所のことを知り、ご近所づきあいを密にし、情報を共有する」、「町内会で防災・減災について知識を深める」、「実戦的な訓練を実施する」、「町内会に加入していない人の訓練への参加を促す」、「地域全体のネットワークを構築する」などのアイデアが出されました。</p> <p>両テーマとも、日頃からのご近所づきあいが重要で、『「ご近所」を「互近助」に』の方向性が確認できた座談会となりました。</p> <p>参加していただきました地域の皆様、本当にありがとうございました。</p>			
			
			
			

第4回 大津地区地域座談会報告


日時	平成29年9月21日（木） 19:00～20:30		
テーマ	大津地区の地域コミュニティづくり ～地域のつながりを再構築するために～		
会場	JA大津松茂	参加者数	28名
<p>今回の座談会では、これまでの座談会で出された地域の課題のうち、「地域コミュニティづくり ～地域のつながりを再構築するために～」をテーマとして6班に分かれて意見交換をしていただきました。</p> <p>新しい住民さんとの関係や農家と非農家とのつながりなど、地域のつながりが希薄化してきていることは皆さん感じていて、もう一度つながっていくにはどうすればよいのか色々な意見が出されました。</p> <p>「まずは隣近所でのあいさつから」、「地域の様々な団体・組織の活動を回覧板・広報誌・SNSなどを通じて広報・周知したらどうか」、「若い世代にアンケート調査をしてみても」、「地域の祭りの活性化などイベントの充実」、「子どもの遊び場づくり」、「ジャンボ農作物大会の開催」、「サロン活動の充実」、「子どもを通じてつながる」、「組織体制の見直し」などのアイデアがでましたが、最も多くのグループから出されたのが、かつてはJAを中心に開催されていた「大津町民大運動会の復活」でした。地域対抗の種目はかなり白熱し、住民さんのつながりが強かったとのことでした。</p> <p>これからの大津地区を、誰もが「住んで良かった」と思える愛着ある地域にするための目標やアイデアを共有できた座談会となりました。</p>			



第3回 大津地区地域座談会報告

日時	平成29年6月28日(水) 19:00~20:45		
テーマ	大津地区の課題抽出 ~困りごとから解決への役割を考えよう~		
会場	JA 大津松茂	参加者数	29名
<p>今回は「地域の困りごとから解決への役割を考えよう」というテーマで座談会を開催しました。地域で現在困っていること・不安に感じていること、また将来困るであろうことについて、①自分や家族、隣近所 ②町内、地域住民 ③社協 ④行政のうちどこが中心となり解決へ進んでいけばよいかを6グループに分かれて話し合っていました。</p> <p>少子高齢化や独居高齢者、空き家、車の運転ができなくなった時の交通(買物)問題、災害への不安、地域のつながりの希薄化など様々な困りごとや不安に感じていることが発表されました。中でも特徴的だったものが、農家の後継者問題(農業の担い手・結婚)でした。</p> <p>それぞれの困りごとの解決役割の中心についても様々な意見がでましたが、「『社協』について、どんなことをしているのか、どんなことが期待できるのか分からない」という厳しい言葉もいただきました。</p> <p>市社協では現在、積極的な活動が展開できておりませんが、住民の皆様からいただくご意見・ご要望を、これから策定する地域福祉活動計画に明記し、その実現に向けた体制づくりや活動につなげてまいりたいと思っております。</p>			
  			

第2回 大津地区地域座談会報告

日時	平成29年5月12日（金） 19:00~20:30		
テーマ	福祉資源マップづくり ～大津地区の福祉資源を掘り起こす！～		
会場	JA 大津松茂	参加者数	33名
<p>お忙しい中 33名と多くの方にご参加いただき、第2回地域座談会を開催しました。徳島大学・柳沢先生より「福祉資源マップづくり」についての説明の後、7グループに分かれ公共施設や、医療・教育機関、防災、老人会・民生委員・婦人会活動等の福祉資源について意見が交わされました。</p> <p>面積の広い大津町では、地区によって様々な特色がありました。「大型の商業施設が多く便利。」「各科の病院があるので安心して暮らせる。」といった意見が多い反面、「バス停が少なく車の運転が出来なくなれば生活するのが難しくなる。」といった意見もありました。</p> <p>大津町は集会所の数が多く、消防団の活動も活発で防災への意識の高さを感じました。国の史跡に指定されている大代古墳を保存する活動も住民主体で行われています。住み慣れた町での暮らしを続けていくための、有意義な座談会になりました。</p>			
			

第 1 回 大津地区地域座談会報告

日 時	平成 29 年 3 月 30 日（木） 19：00～20：30		
テーマ	大津地区らしさってなんだろう（大津地区の魅力発見）		
会 場	JA 大津松茂	参加者数	46 名
<p>年度末のお忙しい時期に予想を上回る多くの方にご参加をいただきました。</p> <p>「大津地区のいいところ」について、6つのグループに分かれ意見交換を行いました。最初は緊張されていたのか、静かに始まりましたが、徐々に活発な意見交換となりました。</p> <p>各グループの発表では、「やっぱり大津はいも・梨・れんこん」、「自然が豊か」、「地域の結びつきが強い」、「徳島市や関西圏へのアクセスが便利」などが、各グループから出されました。</p> <p>賑やかにグループワークが行え、地域への関心の高さを感じることができました。</p>			
